

教育委員会定例会（平成22年5月）会議録

1. 日 時	平成22年5月6日（木） 16:00 ～ 17:40
2. 場 所	新居浜市庁舎3階 応接会議室
3. 出 席 者	<p> 委員 長 宇 野 征 一 委 員 太 田 恵 理 子 三 木 由 紀 子 小 野 正 師 教 育 長 阿 部 義 澄 事 務 局 長 高 橋 康 文 総 括 次 長 近 藤 清 治 次 長 秋 本 司 課 長 関 福 生 藤 田 秀 喜 伊 藤 繁 次 郎 曾 我 幸 一 館 長 坂 本 睦 美 </p>
4. 教育長の 一般報告	<p> 教育長報告 4月分行事報告及び5月分行事予定について その他 </p>
5. 記録者氏名	社会教育課 帆谷 麻衣
	<p> <議 案> 議案第19号 新居浜市教育委員会公印規則の一部を改正する規則 の制定について 議案第20号 新居浜市こども発達支援センター設置及び管理条例 の議案送付について 議案第21号 平成22年度新居浜市奨学資金奨学生等の決定につ いて </p> <p> <その他> (1) 教育委員会各課の課題・重要事業等について (2) 教育懇談会について </p>

<p>宇野委員長</p>	<p>それでは定刻がまいりましたので、平成22年第5回新居浜市教育委員会定例会を開催いたします。</p> <p>本日の会議録署名委員は、小野委員さん、太田委員さんをお願いいたします。会期は本日限りといたします。平成22年第4回定例会会議録の承認につきましては、三木委員さんと、小野委員さんにご署名をいただいております。</p> <p>それでは、教育長さんの一般報告をお願いします。</p>
<p>阿部教育長</p>	<p>それでは一般報告を行います。資料の2ページをご覧ください。</p> <p>4月の主な行事についてご報告いたします。</p> <p>2日 平成22年度昇任管理職及び転入管理職、市教育委員会管理職の紹介式、市外よりの転入教職員24名の受け入れ式が執り行われました。</p> <p>広瀬歴史記念館の名誉館長が、末岡照啓住友史料館副館長さんに委嘱されました。</p> <p>5日 新規採用教職員着任式が執り行われ、新居浜市内の小中学校へ22名の新規採用教員が着任いたしました。また、今年度お世話になる講師・助教諭の32名の着任式も執り行われました。児童・生徒たちにとって最も近い世代として、成長して欲しいと思います。</p> <p>第25期新居浜市体育指導委員委嘱式が開催され、各校区から推薦されました70名の体育指導委員さんに委嘱状が渡されました。今年から二カ年間の任期で、地域の方々へスポーツレクレーションの啓発や実技の指導及び、健康増進を図るための組織の育成に努めていただくこととなります。</p> <p>7日 平成22年度学校予算配分説明会が開催されました。財政上大変厳しい中での、学校施設の整備等で前年度よりも増額の約4.9億円、市財政での約1.1パーセントを占めることとなります。より有効な活用に努めていくことをお願いいたしました。</p> <p>8日 平成22年度小学校入学式が各校で実施され、晴れて入学した児童は1,134名でした。</p> <p>新居浜工業高等専門学校の新居浜分校の平成22年度の入学式が実施され、入学生・編入生・留学生の238名が新たに学校生活を開始しました。</p> <p>また、今治特別支援学校新居浜分校においても入学式が実施され、小学部12人（内新居浜市6人）、中学部7人（内新居浜市2人）、高等部に14人（内新居浜市12人）が入学しました。分校開校の5年目で99人の在籍数（内新居浜市49人）となりました。</p> <p>9日 平成22年度中学校入学式が各校で実施されました。1,197名の生徒が新たな目標と希望の実現のために、充実した日々を過ごしてもらいたいものです。市内の小中学生の前年度との比較は、小学生6,954名で73名の減少、中学生3,507名で44名の増加、総計10,461名の29名の減少となっております。</p> <p>10日 第43回にはま春の市民文化祭が美術の部・芸能の部の第5部までの内容で4月25日まで華やかに開催されました。美術の部の入場者2,010名、芸能の部の出場者・入場者は3,131名を数えました。</p> <p>12日 平成22年度第1回小・中学校長研修会が開催され、新居浜市の教育等について説明が行われました。また、あすなろ教室の運営について紹介されました。</p>

教育委員会の各課の平成22年度の取組についての教育長ヒアリングが20日までの期間で行われました。

第19期新居浜市スポーツ推進委員委嘱式が開催され77名に委嘱されました。校区内での地域の方々に対して、スポーツ指導や健康指導を担っていただき、体育振興会のメンバーとしてご協力をお願いすることになります。

14日 教科・教科外主任、助言者合同会が金子小学校と宮西小学校で開催され、関係教職員に、今年度の研修会を円滑に行うため、学校教育の指針の説明と年間計画を作成いたしました。

また、新居浜市教育委員会表彰式が行われ、角野中学校河村公寿教諭が美術教育・学年主任・陸上部活動、特に、駅伝指導での全国駅伝競走大会に連続出場し、平成21年度第17回全国中学校駅伝大会において第7位入賞させた指導力に対して表彰を行いました。

16日 泉川小学校で校歌にも歌われている遠藤石山先生と稽崇館をたたえての「遠藤石山垂教之地記念碑」の移設除幕式が、泉川小学校児童・まちづくり協議会員の参加により、泉川小学校校庭の桜の木の下で執り行われました。遠藤石山先生の教えが子どもたちに伝わり、目的意識を持ち、自律した、楽しい学校生活を送ってほしいものです。

平成22年度新居浜市公民館連絡協議会総会が開催され、21年度の事業報告や決算報告、22年度の事業計画や予算が審議され、決定されました。

18日 今年度新居浜市教育委員会の指定を受けての「食農と健康に関する実践研究推進事業」の一環として、若宮小学校と惣開小学校で「NPO法人大地といのちの会」の中尾慶子先生の「食育」講演会が実施されました。

「みんなで 楽しく 歩きましょう」の大会スローガンのもと、第36回市民歩け歩け大会が、体育指導委員の先導で、山根市民グラウンドを中心に広瀬公園・広瀬歴史記念館を活用して開催されました。約150名の参加を得て楽しい一日を過ごすことができました。また、開会式の席上で永年地域体育スポーツの振興に貢献されました8名の方が表彰されました。山根グラウンドで軽スポーツを体育指導委員と一緒に楽しんでいました。

20日 全国学力・学習状況調査が実施されました。

新居浜市食生活改善推進協議会総会が『私たちの健康は私たちの手で』とのスローガンを掲げ、約300名が集まり開催されました。

22日 平成22年度新居浜市連合婦人会大会及び第61回総会が開催され、長年ご活躍された方々への会長表彰がなされました。その後、佐々木市長による「平成22年度施政方針について」と題して講演が行われました。

23日 平成22年度子どもの読書活動優秀実践校・図書館・団体に対する文部科学大臣表彰の被表彰者として、船木小学校が選出され表彰を受けました。船木小学校は今年度も学校図書館活性化推進実践校として、また、文部科学省の学校図書館機能強化事業指定校として取り組んでいます。

24日から29日 市長旗争奪中学校選手権大会が開催されました。

28日 平成22年度四国都市教育長連絡協議会が高知市で開催され、権限の移譲について、小学校外国語活動への教育委員会の支援について、特別支援教育の充実について等について情報交換や質疑が行われました。

	<p>29日 平成22年度春祭り剣道大会が武徳殿で開催され、小学生や中学生、一般の団体と個人の試合がもたれました。小中学生の気合の入った声を久しぶりに聞くことができました。</p> <p>5月1日 平成22年度の新居浜市の小学校児童数6,954名の270学級、中学校生数3,508名の121学級となりました。昨年度と比較すると小学校では74名・4学級の減少、中学校では43名・5学級の増加となりました。</p> <p>1日から5日 第19回「春はこども天国」事業が銅夢にいほまを中心として、開催されました。5日には保育園幼稚園児の「ぼくのゆめ・わたしのゆめ絵画展」の表彰式が行われました。絵画展には709点の応募があり、92点の優秀作品が表彰されました。表彰式で、名前を呼ばれた時、会場全体に聞こえる声で、「はい」の返事をした園児や表彰状をもらった時、はっきりと「ありがとうございました」とお礼の言葉を伝えた園児に感心をしました。</p> <p>その他、5月の主な行事予定について報告を申し上げます。</p> <p>9日 第30回三浦旗全国招待少年剣道大会 少年補導委員協議会総会 移動動物園（別子銅山記念図書館）</p> <p>10日 市町教育委員会連合会理事会 文化協会総会</p> <p>11日 小・中学校教務主任研修会 人権のつどい日</p> <p>13日 租税教育推進協議会</p> <p>14日 新居浜市女性連合協議会大会</p> <p>15日 平成22年度新居浜市PTA連合会総会</p> <p>16日 校区運動会</p> <p>18日 臨時市議会</p> <p>19日 市町教育委員会教育長会議</p> <p>20日 教育懇談会（大生院）</p> <p>23日 教育懇談会（川東）</p> <p>28日 小・中学校教頭研修会</p> <p>30日 春の自然散歩の集い（山根グランドから別子ライン）</p> <p>以上で、一般報告を終わります。</p> <p>宇野委員長</p> <p>ありがとうございました。一般報告についてのご質問・ご意見等ありませんか。</p> <p>そうしましたら続いて議案の審議をお願いしたいと思います。本日の議案は第19号から第21号の3議案ですが、議案第21号は個人の情報に関する議案でございますので、新居浜市教育委員会会議規則第37条の規定により、この会の最後に秘密会として審議させていただきたいと思いますが、ご異議ございませんでしょうか。</p> <p>委員一同</p> <p>はい。</p> <p>宇野委員長</p> <p>そうしましたら、議案第19号 新居浜市教育委員会公印規則の一部を改正する規則の制定について、事務局からご説明をお願いします。</p>
--	---

<p>関社会教育課長</p>	<p>議案第19号 新居浜市教育委員会公印規則の一部を改正する規則の制定について、ご説明を申し上げます。</p> <p>3月の教育委員会におきまして、新居浜市金子公民館が廃止され、新居浜市地域交流センターが設置されたことに伴う公印の新設について規則のなかで制定させていただきました。そのなかで、現在の別表中の公民館数が「18」だったのですが、金子公民館を除く「17」に改めるための一部改正でございます。公布の日から施行とさせていただきますと考えておりますので、ご審議よろしく申し上げます。</p>
<p>宇野委員長</p>	<p>ご説明いただきましたが、ご意見・ご質問等ありませんか。</p> <p>そうしましたら、議案第19条についてご承認いただける委員さんは挙手をお願いします。(全員挙手)</p> <p>ありがとうございました。全員挙手ですので、承認とさせていただきます。続いて議案第20号 新居浜市こども発達支援センター設置及び管理条例の議案送付について、事務局からご説明をお願いします。</p>
<p>曾我発達支援課長</p>	<p>議案第20号につきましてご説明申し上げます。議案書9ページをお開きください。</p> <p>新居浜市こども発達支援センター設置及び管理条例の制定につきましては、発達に支援を必要とする乳幼児、児童・生徒及び青少年に対し、専門的な相談、指導、療育等を行う拠点施設として設置いたします。新居浜市こども発達支援センターが平成22年10月に供用を開始することから、当施設の適切な管理と運営を図るため条例を制定しようとするものでございます。条例制定の内容といたしましては、第1条では設置目的、第2条では施設の名称と位置、第3条では事業内容、第4条では職員の配置、第5条では条例の施行に関し必要な事項は教育委員会規則に委任することといたしております。なお、この条例につきましては、平成22年10月1日から施行したいと考えております。ご審議をいただきたいと思います。よろしく願いいたします。</p> <p>なお、これまで仮称ですが「子ども発達支援センター」としておりましたが、今回「こども発達支援センター」と改めております。これは「新居浜市こども夢未来基金」という事業がありまして、この事業名称と整合性を図りたいと考え、平仮名の「こども」を使用しております。</p>
<p>宇野委員長</p>	<p>ありがとうございました。何かご質問・ご意見等ございませんか。それでは、議案第20号についてご承認いただける委員さんは挙手をお願いします。(全員挙手)</p> <p>全員挙手ですので、承認とさせていただきます。それでは、その他</p>

<p>高橋事務局長</p>	<p>に移りたいと思います。(1) 教育委員会各課の課題・重要事業等について、事務局からご説明をお願いします。</p> <p>教育委員会各課の平成22年度の重要事業及び提案事業等につきましてご説明させていただきます。なお、社会教育課、学校教育課、発達支援課、体育文化課、学校給食課、図書館の順に説明させていただきます。各課説明後、ご質問等あればお願いいたします。</p>
<p>関社会教育課長</p>	<p>社会教育課の重点事業についてご説明させていただきます。資料に5項目掲げております。</p> <p>『1. 地域主導型公民館への円滑な移行及び今後の方向性を明確化すること』について、現在新居浜市地域主導型公民館ということで移行を進めており、今年度新たに8館が加わり、18館のうち14館が移行しております。大島、別子山公民館は除くかたちで考えますので、中萩、角野両公民館が残るということで現在動いております。したがって2館以外の主事は非常勤職員となり、正規職員はいない状況ですので、実務的な面やいろいろな面でのサポートが必要になっております。十分な体制を整備して、今後地域主導型公民館が本来目指すべき地域の住民が主体となりまちづくりを進めていく拠点になるような手当てをしてまいりたいと考えております。そのなかで今年度、力を入れて取り組みたいと思っております事業が2点あります。1点は地域主導型公民館がどのようなものなのか明らかにする意味合いでも新規事業への取組を考えております。「校区まちづくり推進事業」ということで、新たにその地域の特性を生み出すような事業に対して予算化を図り支援してまいりたいと考えております。そしてもう1点は、今後23年度以降どのようなものを試行していくのかを、この1年かけていろいろ協議してより明確にしていまいりたいというのが、地域主導型移行にあたっての考え方でございます。</p> <p>続いて『2. 地域づくりを支える人材の育成を図ること』ですが、これは当然『1』と関連しますが、これから先の地域活動、地域づくりを支えていく人材をいかに発掘し、その人材の育成を図っていくかが非常に重要な課題であると考えております。やはり地域づくりを進めていくのは人が基本であろうかと思っております。いろいろな人が自らを主人公として地域のなかで活躍できるような体制を整えてまいりたいと考えております。それにあたって、地域の人が動きやすいような条件整備を図っていくことが、公民館職員の務めであろうかと考えております。そういった意味合いで、ひとつは住民のリーダーを育てていくこと。これまで2年間続けてまいりましたけれども、今年度も志縁人養成塾ということで充実させていきたいということが1点目でございます。そしてもうひとつは、公民館職員が正規職員から非常勤</p>

職員へ移行するなかで、非常勤職員のみなさんが自分の仕事に対して自信をもって取り組んでいけるように専門性を付与していきたいというのが2点目でございます。現在、まだ協議中ですけれども文部科学省の資格で社会教育主事という資格がございます。その資格をインターネットで受講できるような仕組みに取り組むことが可能ということですので、できれば新居浜市でその仕組みを導入していきたいということが現在考えております課題でございます。

『3. 社会全体で子どもたちの育ちを支える仕組みを整備すること』ですが、現在教育基本法等も改正されているなかで、非常に重要な課題となっておりますけれども、社会全体で子どもたちの成長、育ちを支えていくような仕組みを整えていきたいという思いがございます。学社融合という言葉が叫ばれて長い時間が経過しておりますけれども、まだまだ本来の意味での学社融合という次元には距離があるかと思えます。みんなで地域をあげて学校を支援し、子どもたちの居場所を作っていけるような取組を進めてまいりたいと考えております。1点目は、学校支援地域本部事業です。これは文部科学省の委託事業としては今年度が最終年度となります。来年度以降国の予算は削減あるいは無くなるかもしれませんが、新居浜市として地域をあげて学校を支えていく体制をこの1年で固めていきたいと考えております。2点目は放課後子ども教室ということで、現在各地域において子どもが安心して生活できる居場所を作る事業に取り組んでおります。福祉部の事業で放課後児童クラブもございますけれども、両者の連携をより密にしながら、地域のなかで子どもが育っていけるような場を作ってまいりたいと考えております。そして3点目はこども夢未来基金事業ということで、現在子どもたちに対して体験の場を提供する事業に取り組んでおります。神戸や淡路島を訪ねての防災ツアーやこども環境キャンプのような事業を通して、自然や職業を含めいろいろな体験活動が子どもたちに提供できるよう努めてまいりたいと思えます。

『4. 地域住民が利用しやすい公民館施設の環境整備を図ること』についてですが、現在公民館の施設は築後30年以上経過している公民館もかなり増えてまいりました。エアコンも設置してすでに15年以上経過するような公民館もかなりございます。生涯学習、社会教育の拠点としての学習の場としての公民館をこれから先、計画的に整備してまいりたいというのが今後のひとつの柱となっております。現在、新居浜市地域交流センター（旧金子公民館）につきましては、建物は完成し利用しておりますけれども、駐車場などの外構設備について今後取り組んでまいります。また、公民館によりますとトイレが男女兼用となっております公民館も何館かありますので、そういったものの改善、あるいは公民館の部屋のエアコン等の改修を順次進めてま

<p>藤田学校教育課長</p>	<p>いりたいと思います。</p> <p>最後に『5. 今年度取り組む大規模行事等について』の概略の説明をさせていただきます。1点目は8月5日から8日の予定で、こども環境キャンプ事業に取り組むたいと考えております。こども夢未来基金事業として実施したいと思っております事業ですが、別子山の地におきまして昆虫や植物、天文や鉱物といういろいろな自然に対しての体験学習を深め、旧別子あるいは別子銅山の学習を深めるなかで、新居浜市の歴史や文化に対しても学習を深めるといった場を3泊4日で計画いたしたいと考えております。この事業の実施にあたっては、小学生高学年から中学生ぐらいがある程度異年齢で体験できるような場を作り、高校生あるいは大学生等の協力も得ながら、ピアカウンセリング的な学習ができるような事業にしたいと考えております。そして、来年度環境自治体会議等もごございますので、ここで学んだことを発表できるところまで繋いでまいりたいと考えております。2点目は愛媛県市町教育委員会連合会総会が、今年度は新居浜市で開催することになっております。日程としましては、7月16日(金)に日程調整をしているところでございます。教育委員の皆さん方にはご出席いただきまして、いろいろとご協力・ご支援いただければと考えております。場所につきましては、リーガロイヤルホテルで行いたいと思います。それと愛媛県公民館研究大会が今年度新居浜市で行われることになっております。日程は10月20日(水)から21日(木)、市民文化センターの大ホール等で行う予定にしております。これにつきましてもいろいろとご支援いただければと思います。以上でございます。</p> <p>続きまして学校教育課から重要事業についてご説明させていただきます。</p> <p>『1. 教育環境の整備充実』についてです。今年度は、川東中学校、神郷小学校北棟、角野小学校中2棟、中萩小学校南棟及び別子中学校校舎の耐震補強と大規模改造事業を行います。別子中学校の工事が完了すれば、別子小学校の校舎は解体撤去する予定にしております。この5校の事業費が約22億5000万円でございます。次に北中学校体育館の改築工事を行います。北中学校体育館の内装につきましては、地域材を使用し、ぬくもりのある体育館に仕上げてまいります。事業費は約3億1500万円です。次に運動場排水整備事業についてですが、今年度垣生小学校と船木中学校の2校の運動場につきまして、環境排水等の工事を行います。事業費は約5500万円です。続きまして昨年度からの繰越事業についてです。小・中学校情報通信技術整備事業についてですけれども、昨年度から実施設計等いろいろな準備を行っており、8月末までにパソコン教室の機器の更新に合わせ</p>
-----------------	--

て、教職員のパソコンと校内LANの整備を行います。ただし、先ほど申しあげました5校につきましては、大規模改造の工事期間中になりますことから、2月末の整備となります。このパソコン関係の事業費につきましては約4億9000万円です。次に小・中学校エコ改修事業についてですけれども、小・中学校24校に10kwの太陽光パネルを設置いたします。事業費が約2億9000万円でございます。以上、繰越も含めてですが今年度は約34億円の事業を行ってまいります。

『2. 地域に開かれた特色ある学校を目指して』ということで、「学校へ行こうデイ」「夢広がる学校づくり推進事業」「いはいまスクールエコ運動」等を実施いたします。

『3. 社会の変化に対応した多様な教育の推進』につきましては、「中学生海外派遣事業」「生きた英語教育推進事業」等を実施いたします。

『4. 児童・生徒の健全育成活動の充実強化』についてですが、「いじめ・不登校問題等対策事業」「スクールソーシャルワーカー活用事業」等を実施いたします。

学校教育課が最重要課題と位置づけておりますのが「いじめや不登校を生まない楽しい学校づくり」でございます。いじめ・不登校につきましては、教職員全員が一致団結して未然防止、早期発見、早期解決に全力を尽くすとともに、家庭や地域社会及びあすなる教室、スクールソーシャルワーカー、ハートなんでも相談員、スクールカウンセラー、中1ギャップ対応非常勤講師との連携を密にし、開かれた生徒指導の推進に努めてまいります。また、1学期中に全中学校区で教育懇談会を開催し、保護者、地域、市民への啓発を図っていきたいと考えております。また、昨年度に引き続き小学校と中学校が連携実践するため、北中学校と新居浜小学校・宮西小学校、大生院中学校と大生院小学校を指定校とし、5校の中学校区協議会による研究実践を行うとともに小・中学校の教職員、児童・生徒の交流を深め、中1ギャップの解消に向けて取り組んでまいりたいと考えております。

最後に新規事業についてですけれども、1点目は「食農と健康」に関する実践研究推進事業を行います。研究推進にあたっては、実践研究教育5校協議会を組織し、アドバイザーとして『大地といのちの会』との連携により、研究推進を行うものでございます。西中学校、惣開小学校、若宮小学校では「食習慣の改善」について、垣生小学校と大生院小学校では「作物の生産体験」をテーマとし、各校の実態に応じた研究を行うものでございます。2点目は中学校スポーツトップアスリート事業を行う予定でございます。これにつきましては6月議会に提出すべく事務作業を行っております。中学生の体力増進、競技力などのレベルアップと教員の指導力向上を図るもので、こども夢未来基金

<p>曾我発達支援課長</p>	<p>を活用し、実施するものでございます。今年度は駅伝競走についてのトレーニング実践、走りの基本講習会を開催するもので、講師は土佐礼子さんとその夫である村井啓一さんを予定しております。村井さんは松山大学の職員で、2年前に女子駅伝部を創部、同大女子駅伝部コーチとして指導を行っていると聞いております。以上で学校教育課の説明を終わります。</p> <p>発達支援課から説明させていただきます。「特別支援教育は教育の原点」としてとらえ、一人一人を大切にし、児童・生徒の障がいの重度・重複化や多様化、発達障がいのある児童・生徒の教育的ニーズに応じて適切な指導及び必要な支援を行うことを目標といたしまして、障がいや発達支援のある子どもが、地域でともに育ち、学び、働き、暮らす支援の体制づくりに取り組み、障がいの有無に関わらず、誰もが相互に人格と個性を尊重し支え合う共生社会を目指すことを取組としております。</p> <p>まず『1. 包括的な発達支援システムの推進』ということで、障がいや発達課題のある子どもたちへ、保健、医療、教育、福祉、労働の各機関相互の緊密な連携の確保とライフステージに応じた包括的な支援システムの推進を図るとしてしております。1点目に文部科学省のモデル事業の発達支援協議会を設置していましたが、モデル事業が2年間で終了いたしました。今年度地域発達支援協議会を改組しまして設置し、一貫した支援を行うことといたしております。また、昨年度は中学校と高等学校の特別支援のコーディネーターの連絡会を開設することができました。これに続きまして、保育園・幼稚園と小学校との密接な関係について今年度連携を深めていきたいと思っております。また、「個別の支援計画」(サポートファイル)につきましても、引き続き作成を行い、関係機関への引継ぎを行いたいと思っております。そして、個の状況により、必要が生じた場合、関係機関によるケース会議を行いたいと考えております。</p> <p>次に、先程も条例制定の際にお話させていただきましたが、『2. (仮称) こども発達センターの開所』ということで、障がいや発達課題のある子ども及びその家族に対して、必要な支援を包括的、継続的に実施することを目的に、地域における発達支援の中核的機関として、こども発達支援センターを設置したいと思っております。1点目に総合相談業務ということで、平成21年度は858回の相談回数がありました。平成23年度に向け相談支援体制を検討したいと思います。2点目に早期相談・指導事業(育ちの教室)についてですが、昨年度は月2回1クラスで運営しておりましたが、年齢で2つのグループに分けて各月2回実施したいと考えております。8月までは、神郷幼稚園で実施いたしますが、10月からはセンターで実施してい</p>
-----------------	--

<p>近藤総括次長</p>	<p>きたいと考えております。3点目「ことばの教室」就学前部門についてですが、今まで宮西小学校で実施しておりましたが、10月からはセンターで「育ちの教室」との役割を明確化して連携して実施したいと考えております。4点目、巡回相談の実施についてですが、これまで保育園、幼稚園、小学校で実施をしておりましたが、必要に応じて中学校、高等学校にも希望があれば実施をしていきたいと考えております。5点目に、研修会、講演会の開催についてですが、今年度につきましては、8月6日に花熊 暁先生（愛媛大学教授）、8月28日に富田 久枝先生（鎌倉女子大学准教授）、8月30、31日に吉松靖文先生（愛媛大学准教授）をお迎えいたしまして、研修を開催したいと考えております。</p> <p>最後になりますが、昨年度教育委員会でも説明させていただきましたが、M-CHATにつきましては、今年度保健センターで試験導入というかたちで実施していきます。また、神尾 陽子先生とは共同研究を継続して行いたいと考えております。以上で発達支援課の説明を終わります。</p> <p>続きまして体育文化課からご説明させていただきます。</p> <p>『芸術文化の振興』につきましては、瀬戸フィルハーモニー交響楽団による学校出前コンサートを行うとともに、地域の演奏家を学校に派遣いたしまして、芸術文化が体験できる行事を開催するなど、広く市民への芸術文化の観賞の機会充実に努めてまいります。広瀬歴史記念館の充実ににつきましては「近代別子銅山の住まいと暮らし」をテーマに特別企画展を開催し、重要文化財であります旧広瀬邸のPRと保存活用に努めてまいります。また現在、公開されていない施設の馨原文庫、靖献堂、茶室、渡り廊下など改修整備をいたしまして保存に努めます。それと展示館と旧広瀬邸を結ぶ駐車場上側の桜園の整備を行いまして、利用者の拡大を図ってまいりたいと考えております。それと、広瀬邸の庭園ですが国の名勝指定に向けて、現在県に要望書を提出しておりますが、今後、国にも働きかけをしてまいりたいと考えております。郷土美術館の充実ににつきましては、地域ゆかりの写真、洋画の企画展の開催、文化教室等を開催し地域の芸術文化の向上を図り、ボランティアスタッフの育成にも努めてまいります。</p> <p>『スポーツ・レクリエーションの振興』につきましては、軽スポーツを中心とした市民体育祭をはじめ、市民歩け歩け大会、スポーツ健康教室などを開催いたします。それから、全国大会出場選手への支援を図るとともに、新居浜少年スポーツ大会や各種スポーツ教室を開催し、青少年スポーツ活動を推進いたします。さらに、地域主体で動いていただけるように地域スポーツ育成事業等を実施いたしまして、生涯スポーツ、競技スポーツの推進に努めてまいります。そして、平成</p>
---------------	---

<p>伊藤学校給食課長</p>	<p>29年度に愛媛県で開催されます第72回国民体育大会に向けては、引き続き調査を行うとともに、講演会、「ふれあいスポーツ教室」の開催など行いまして、国体種目の育成・強化に努めてまいります。「ふれあいスポーツ教室」につきましても、新居浜市が開催地でありますウエイトリフティング教室を開催する予定にしております。</p> <p>課題でございますが、体育文化施設の整備促進ということで、体育文化施設の老朽化等により、計画的な整備、改善が必要となっております。特に市民文化センターのプラネタリウムの閉館と後利用についてと市民文化センターの大ホールの改修について検討する必要があると考えております。以上です。</p> <p>学校給食課から説明させていただきます。4項目ございます。</p> <p>まず『1. 学校給食センターの安全衛生管理体制の整備』についてです。第1点目、学校給食センターにおける危険性・有害性を特定して、災害の大きさや発生するリスクの可能性を見積って、その低減措置を検討して作業手順を作成する。また、作業手順によって従事者教育を徹底させ、危険防止及び健康障害防止に努めてまいります。第2点目、学校給食センターに設置している機械について、種類ごとに作業標準を作成し、作業従事者誰もが安全な作業を行えるように作業手順を作成してまいります。第3点目、小型ボイラーを取り扱っている職員に対して安全のための特別教育を5月10日に受講させる予定にしております。</p> <p>『2. 学校給食費未納対策の推進』についてですが、平成17年度から調査しております未納調査につきましても、平成22年3月末現在の資料を作成しております。現在、各学校の個人個別票の検証をしているところでございます。それによりまして平成21年4月に作成した「新居浜市学校給食費滞納対応マニュアル」で各学校で対応しておりますけれども、3月に未納のある学校と未納内容について協議を行いました。今後はさらに学校・PTA関係者と協議を行い、教育委員会においては「学校給食費未納対策班」を設置しまして、未納者に対する具体的な取組が必要になってまいりますのでよろしくお願いいたしますと思います。</p> <p>『3. 地域農産物等の活用推進』についてですが、安全で新鮮な地元食材を利用した給食に努めており、毎月19日を食育の日として、地域の食材を使用した郷土料理など地域の特色を活かした給食の実施に努めております。地元農産物利用割合30%以上を目標としておりますが、現在の利用割合の算定がJA取扱い分のみと決まっております。平成21年度は23.1%でありました。JA以外の納入業者からも地元農産物を購入しておりますので、地元農産物利用割合は40%以上あることが見込まれております。この算定方法も変更の必要</p>
-----------------	--

<p>坂本図書館長</p>	<p>があるように思われます。食育の観点からも、新居浜市の子どもたちが地元農産物を食べるようにすることが必要であり、学校周辺での遊休地の開発、地元生産者の育成も大切でありますので、現在農林水産課と協議中でございます。農林水産課でも予算がございますので、そちらの予算を使用させていただき、遊休地の開発、地元生産者の育成を図ってまいりたいと思います。</p> <p>『4. 給食施設の環境整備』についてですが、小学校の給食施設は、昭和50年代の校舎建設に合わせて建設されたものが大半であり老朽化が進んでおります。現在の給食に対応するために施設も手狭になっているのが現状でございます。また、文部科学省からの通達による衛生管理面からの問題にも対応が必要となることから、近い将来自校方式の給食室の建て替え、またセンター方式による多数校分を提供できる施設の建設、また給食運営自体の委託を含め検討が必要になってくると思われますので、9月以降に基本的な考え方を決める検討委員会を開催したいと考えております。以上です。</p> <p>図書館の具体的施策について説明いたします。</p> <p>基本方針、重点目標につきましては、生涯学習及び地域情報拠点として、市民に役に立つ図書館づくりを進めてまいります。</p> <p>22年度の主な重要・懸案事項につきましては、まず『1. 「図書館海援隊」への参加』についてです。図書館海援隊とは、文部科学省の呼びかけに応じまして、有志の公立図書館が連携しながら、地域が抱える様々な課題に対する解決支援サービスを行うプロジェクトです。現在、全国で20館余りあると思います。愛媛県内では、県立図書館と新居浜市立図書館の2館が加盟しております。新居浜市立図書館で行っております主な事業は、ビジネス情報支援サービス、地域活性化支援コーナーを作り、今年度は資格取得応援コーナーを設置いたしました。医療・健康情報としましては、健康支援コーナー、健康講座の定期的な実施を行います。</p> <p>『2. 平成23年度、祝日開館に向けての職員体制・勤務体制等の検討』についてですが、市民の要望が多くなりましたので、検討してまいりたいと思います。平成22年度は臨時開館を11日行う予定にしております。先日5月4日、5日を臨時開館いたしました。利用状況といたしましては、平日が年平均1日800名程度の来館者だったのですが、すこし少なめですが4日は500名、5日は600名余りの来館者がございました。</p> <p>『3. 学校図書館支援推進事業』です。この事業は平成20年度から図書館が行っておりますが、平成22年度で「まちづくり支援」予算が終了いたします。3年間で4人の学校図書館支援員が学校図書館の整備、読書支援、授業をサポートする学習支援を行ってまいりまし</p>
---------------	---

	<p>た。その結果、子どもたちの学習意欲の高まりや読書活動の活性化が見られております。今年度は学校図書館活性化推進実践校4校（船木小・多喜浜小・金子小・大生院小）を指定しまして、学校図書館の利用促進を図る予定にしております。今後もこの事業を継続させていきたいと考えておりますので、そのためには支援員等による人的配置が必要であるため方策等も検討してまいりたいと思います。</p> <p>『4. 施設修繕計画の策定』です。平成3年に別子銅山記念図書館を建設いたしまして、平成4年10月に開館いたしました。そのため、いろいろと老朽化が目立ってきております。計画的な設備の維持管理保守を行う必要があると思いますので、修繕計画の策定をしてまいりたいと思います。</p> <p>資料裏をご覧ください。今年度の主な実施予定事業についてご紹介いたします。また別紙もお配りしております。5月9日（日）に移動動物園とお話会を行います。移動動物園では10：00から12：00にうさぎ・モルモット・ヘビ・かめに触ってもらえます。12：00から12：40で動物をテーマにしたお話会を実施する予定にしております。</p> <p>また、図書館まつりを昨年度から行っておりますが、今年度11月7日にブック・リサイクル、お話会等で一緒に図書館を楽しんでもらう催しを考えております。以上です。</p>
宇野委員長	<p>ありがとうございました。5つの課、図書館からご説明をいただいたのですが、このなかでご質問・ご意見があればお願いいたします。</p> <p>社会教育課に質問になりますが、こども環境キャンプを3泊4日で実施するようですが、40名の定員ということですが例年はどれくらいの応募人数になるのですか。</p>
関社会教育課長	<p>こども環境キャンプ事業は新規事業になりますので、まだわかりかねますが、今までは別子銅山へ登山を呼びかけておりました。多い年では100名の応募がありましたが、おおよそ40名から50名が例年の応募人数ではないかと思っております。応募人数が100名の時は、人数制限をせずに応募者全員を受けたのですが、100名もの子どものサポートをして登るということは大変だった記憶がございます。これ以外の体験学習的な事業の時に公募をすると、おおよそ40名から50名というのが平均であったと思っております。一度だけ多かったのは、室戸の青少年自然の家での体験学習の募集をかけたときには、非常に多くなりまして、本来は小学校高学年の4年生から6年生と想定しておりましたのを6年生だけに絞り込んだという過去の体験がございます。以上でございます。</p>

<p>宇野委員長</p>	<p>今までは体験活動だったので、この新規事業とは内容が少し違いますが、同じような活動はされていたということですね。親の立場から言わせていただくと大変貴重な体験学習をさせてもらえると非常にありがたいと思います。</p> <p>いろいろと方針や課題も見つかるかもしれませんが、1年間頑張っていたいただければと思います。</p> <p>続きましてその他（２）教育懇談会についてお願いします。</p>
<p>藤田学校教育課長</p>	<p>お手元にお配りしております資料をご覧ください。今年度も予定表のとおり教育懇談会を実施したいと思います。最初は5月20日、最終が7月2日になります。教育委員さんはお忙しいなか大変かと思いますが、ご協力よろしく願いいたします。</p>
<p>宇野委員長</p>	<p>日程調整をしておりますので、後ほど確認させていただきます。</p> <p>その他に連絡・報告等ありませんか。</p>
<p>曾我発達支援課長</p>	<p>平成22年度新居浜市小・中学校ふれあい運動会のご案内についての資料をお配りしております。先に日程を決定していたのですが、学校訪問との日程調整ができずに重複している部分もあるのですが、申し訳ありませんが、日程調整をしていただければ助かります。よろしく願いいたします。</p>
<p>宇野委員長</p>	<p>多喜浜小学校の学校訪問と重なっておりますので、上手に役割分担をして参加したいと思います。他にありませんか。</p>
<p>関社会教育課長</p>	<p>お手元にあります大生院小学校緑の少年団活動という資料をご覧ください。前年度から大生院小学校で緑の少年団活動に取り組んでおります。昨年は新たに団を結成するという活動に取り組んだわけですが、資料にございますように「環境調査」「花いっぱい活動」「河川美化」あるいは「校区の公共施設へのプランターの寄贈」「川をきれいにする活動」等に取り組んでおります。今年度以降地域の公民館等と連携しながら地域のなかに緑を増やしていく活動に子どもたちも取り組んでくれるものと期待しております。昔は、中萩小学校等で緑の少年団活動をしておりました経緯がありましたが、ここ何年か新居浜市は空白の期間となっております。今回、大生院小学校が関わってくれたことによりまして、よりこのような活動に取り組む小学校・地域が増えていってくればと期待しているものでございます。以上ご報告いたします。</p>
<p>宇野委員長</p>	<p>いい勉強になると思います。</p>

	<p>それでは、次回の開催日を決めさせていただきたいと思います。6月の定例会は6月3日木曜日17時00分より開催させていただきます。</p>
阿部教育長	<p>6月3日は浮島小学校の肢体不自由児学級の見学で、学校訪問を予定しております。今年特設のセンター機能を持たせた肢体不自由児学級ということで県からも派遣してもらっておりますのでよろしくお願ひします。</p>
宇野委員長	<p>浮島小学校の学校訪問が午前中、17時から教育委員会定例会ということでお願ひします。それでは、平成22年第5回新居浜市教育委員会定例会を一度閉会いたします。ありがとうございました。</p>
	<p><以下、非公開にて審議></p>
	<p>新居浜市教育委員会会議規則第54条の規定により署名する。</p>
	<p>委員名</p>
	<p>委員名</p>